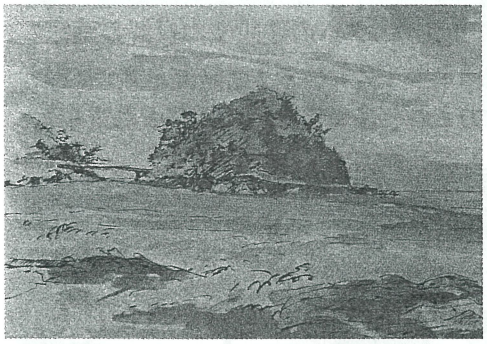
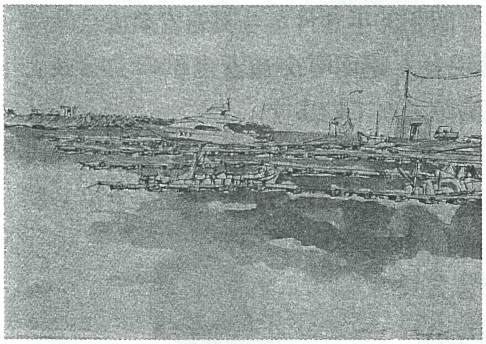
きょなん

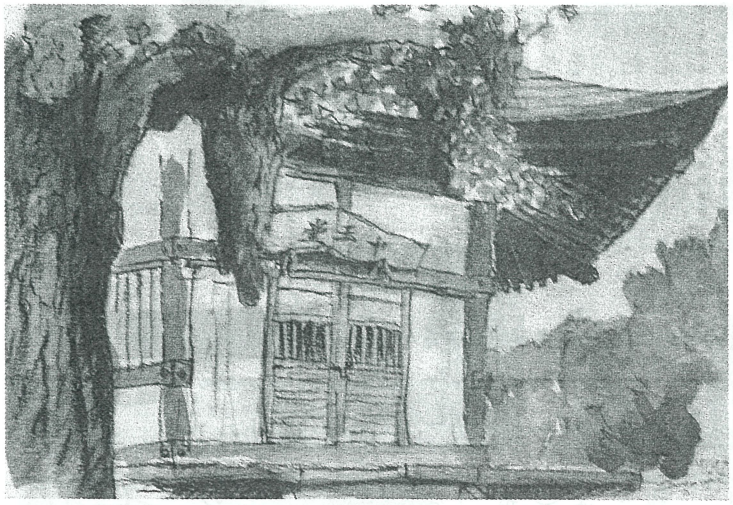
町報　第449号
発行：鋸　南　町
編集：総務企画課
〒299-2192
千葉県安房郡鋸南町下佐久間3458
☎0470-55-2111(代)
毎月１回
ホームページ：http://www.town.kyonan.chiba.jp/

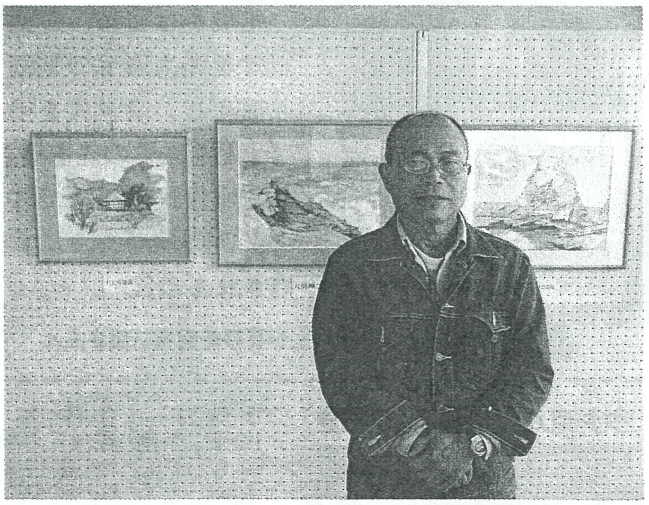
12
2005











「鈴木武助氏個展」

鈴木さんは東京で設計事務所を経営する傍ら房州の海が好きで、釣りをしに鋸南町を訪れました。自然が気に入り、今年10月に鋸南町民となりました。

今回の個展は鋸南町の風景を中心に水彩画23点を道の駅きょなんギャラリーに12月12日まで展示しています。皆さんのご来場をお待ちしています。

旭日双光章

表彰 喜びの顔



喜びの受章　久保田さん

平成17年秋の叙勲で、久保田　敬氏（竜島）が旭日双光章を受章されました。同氏は、昭和50年４月、鋸南町議会議員に初当選、以来平成15年４月までの７期28年の永きに亘り奉職されました。

この間、議会議長・議会副議長・産業常任委員長・議会運営委員長の要職を歴任し、町政の進展と産業の振興に貢献されました。

議員時代には、農業基盤の整備を図り、従来の米中心の農業から生産性の高い施設園芸、花き等の振興を図り、農家の経営安定に努められました。

また、新庁舎・公民館・鋸南中学校・ダムの建設や水資源の確保のほか、鋸南地区環境衛生組合議員として、大谷クリーンセンター、堤ケ谷クリーンセンターの建設に尽力され、多くの分野で活躍されました。

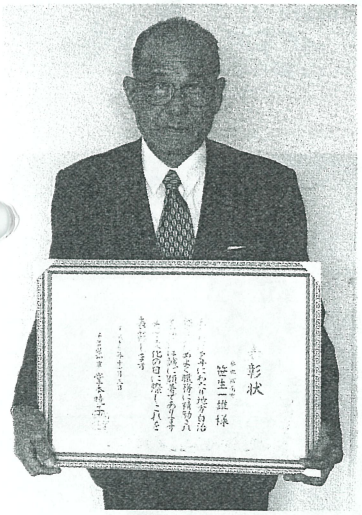
行政の発展に寄与

各分野での活躍が顕著な方に授与される知事表彰。
平成17年文化の日表彰で、笹生一雄氏（吉浜）と田中久枝氏（両向）の2名が受賞されました。

笹生一雄氏は、昭和50年４月、鋸南町議会議員に初当選、以来5期20年の永きに亘り奉職されました。

この間、議会議長・議会副議長・土木環境常任委員長・総務常任委員長・統合中学特別委員長を歴任し、議会の円滑な運営に努めました。

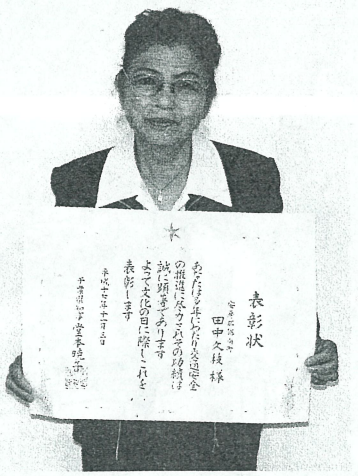
議員時代には、懸案であった鋸南中学校の建設をはじめ、生活基盤や衛生環境の整備を推進し、次世代を担う子どもたちの礎を築き、地域住民の快適で住みよい環境づくりに貢献されました。



喜びの受賞　笹生さん

田中久枝氏は、昭和50年６月から交通安全協会指導員として活躍、現在も鋸南町交通安全母の会会長として永きに亘り活躍されています。

この間、館山交通安全協会指導員・千葉県交通安全協会連合会交通安全指導員・館山交通安全協会勝山支部婦人部長・鋸南町交通安全母の会会長を歴任し、交通安全行政の推進に貢献されました。それらの功績が認められて今回の受賞となりました。



喜びの受賞　田中さん

今月のお風呂大好き



平野まきさん
「お風呂でゆっくり、良い気分です」

見返り美人の里　笑楽の湯

今月のお風呂の日は12月25日（日）「ゆず湯」です。（26日（月）休館日）

さて、冬至になると決まって「ゆず湯」に入るという家庭も少なくないと思います。なぜ冬至に風呂なのかというと、冬至の読みは「とうじ」というわけで、湯につかって病を治す「湯治（とうじ）」にかけていて、更に「柚子（ゆず）」も「融通（ゆうずう）」が利（き）きますように」という願いが込められているんだとか・・・

「ゆず湯」に入ると肌がスベスベになる美肌効果があったり、冷え性やリュウマチにも効くし、体が温まってカゼをひかないとも言われています。

他にも、香りのいい「ゆず湯」はアロマテラピーのリラックス効果も期待できます。笑楽の湯で1年の疲れを癒しませんか。

第45回

鋸南町文化祭

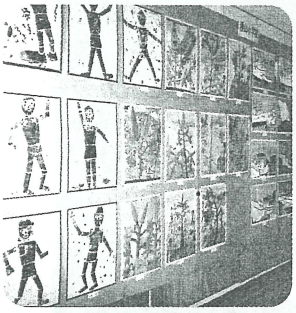
―生涯学習推進大会―

動と静が織り成す祭典

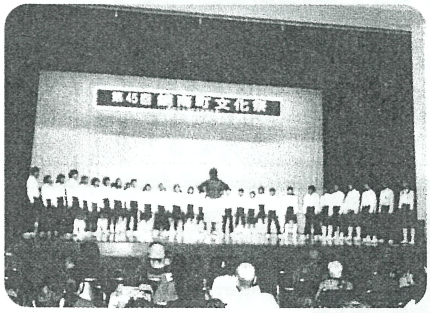
去る10月29日、30日の2日間、中央公民館で第45回鋸南町文化祭が開催されました。中央公民館をはじめ、町内で色々な生涯学習活動をしている団体が展示、芸能、実演部門を合わせ35団体参加しました。

また、小中学校の児童生徒による書道、美術作品の展示や合奏・合唱の発表もあり、参加者も観覧者も子どもから大人まで、文化の秋を楽しみました。






展示の部

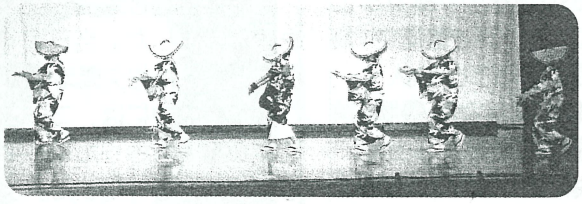


芸能の部



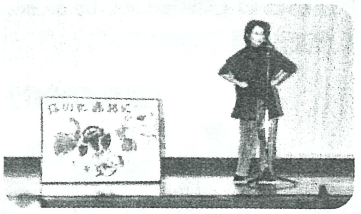
実演の部

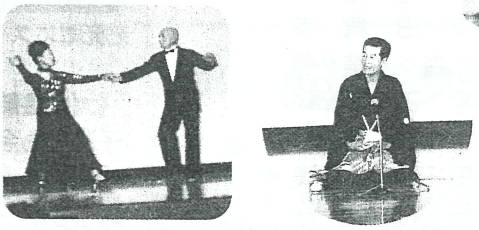
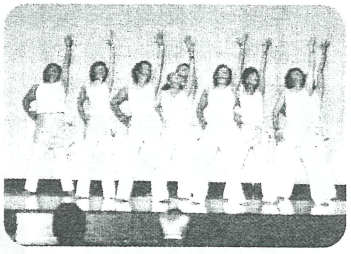








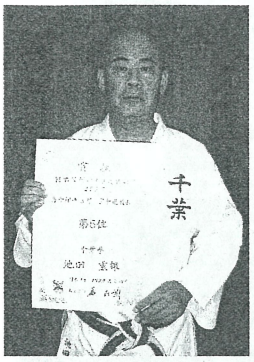






日本スポーツマスターズ大会5位入賞

富山県で開催された日本スポーツマスターズ大会は、スポーツ愛好者の中で、競技志向の高いマスターズ世代を対象としたスポーツの祭典。その大会で県代表として出場した池田重雄さん（竜島）が、男子組手の部で5位に入賞しました。池田さんは千葉県選手団の監督兼選手として出場。監督として、選手を束ねたうえ、自身も入賞を果たした池田さんは「負けた選手も空手着で応援した。チームワークの結果だと思う」と8人が入賞した千葉県選手団について語ってくれました。



喜びの池田さん

スポーツ少年団

関東の有力校で争われる、第6回若潮旗争奪剣道大会が10月2日に実施され、女子が堂々3位に入賞しました。佐貫中、小山中、光丘中、鴨川中と順調に勝ち進み、準決勝で優勝校の千葉国際中に苦戦を強いられ惜敗となりました。

一方、男子は伏姫旗争奪剣道大会において、みごと優勝を果たしました。予選で天羽東中、丸山中、中郷中と4校リーグで勝ち上がり、決勝トーナメントでは富浦中、佐貫中に快勝、決勝戦では館山二中に圧勝しました。

また、新人戦の安房西支部予選でも、団体女子優勝、男子3位、個人戦男子（間々田実周）個人戦女子（山崎悠以）が共に準優勝で県大会出場を決めています。そこで、伝統ある鋸南剣道を維持していくため、剣道に興味のある方は一度見学に来て下さい。毎週火・金曜日午後7時からＢ＆Ｇで練習しています。防具等は有りますので、気軽に体験できます。

《選手の紹介》

	男子	女子
先鋒	渡邉瑞樹	小宅綾希
次鋒	菊間純哉	平田舞美
中堅	間々田実周	森美穂
副将	野中友樹	平田南津子
大将	山田翔	山﨑悠以
選手	浅貝龍太	田中友紀美
	後藤雅大	田村祥子





鋸南町長寿者（100歳）の紹介

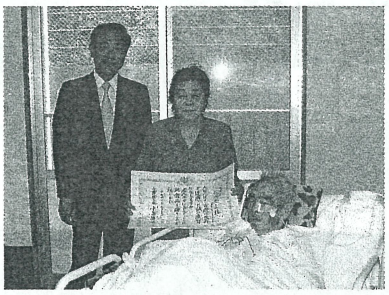
ご長寿おめでとうございます。今年度100歳を迎えられる方々の長寿を祝い、祝品等を贈呈する長寿者慶祝訪問が実施されました。これは、「老人の日及び老人週間」が定められ、その行事の一環として毎年実施しています。

先般、安房健康福祉センター長他3名で、今年度100歳になられます方々のお宅を訪問して、内閣総理大臣からのお祝い状並びに記念品の銀杯をお渡し致しました。

また、社会福祉協議会から松川さよさん（本郷上）に肖像画が贈られました。

今年度100歳を迎えられる方々（敬称略）

松川　さよ　さん
（本郷上）
石井　ミサ　さん
（大　崩）
笹生　みや　さん
（吉　浜）
鈴木　千代　さん
（田　町）
樋口　春枝　さん
（中　原）


今年100歳を迎えられた
松川さよさん

鋸南町オリエンテーリング大会

11月6日（日）、第34回鋸南町オリエンテーリング大会を開催しました。当日は、48チーム約200名の参加者が、会場となった佐久間地区を歩き回りました。

参加者の中には、コースの途中で、農作業をしていた方にみかんをもらったり、牛や自然を、子どもと観察しながら歩いた方もいました。また、当日は少し肌寒さを感じた天候でしたが、ゴールをした参加者の身体は、汗をかく程温まっており、ボランティアで参加していただいた、矢生茂美さん（市井原）からのアイスのプレゼントには、参加者も大喜びでした。


元気にスタート！　めざせ優勝

《大会結果》

子ども会Ａコース
　優勝　竜島ピンポンボーイズ（大会3連覇）
親子Ｃコース
　優勝　中佐久間フラワーチーム（大会2連覇）
親子Ｄコース
　優勝　中組育成会Ａチーム
オープンＥコース
　優勝　祐太郎お兄さんチーム
オープンＦコース
　優勝　バーニングファイアーチーム

つなげよう声のネットワーク

声のバトンタッチ（45）

町民のみなさんの「声」をバトンタッチでつないで、友だちから友だちへ「声」のネットワークを広げていくコーナーです。

お尋ねする内容は、①仕事や趣味　②最近心に感じた事やうれしかったこと　③町政に望むこと　などです。次はあなたもネットワークの一員です。

①地元企業（株）アークで事務の仕事をしています。10月、千葉市にも支店を開設して業務を拡大したので益々忙しくなりました。職場の皆で支え合って、業績を伸ばしています。

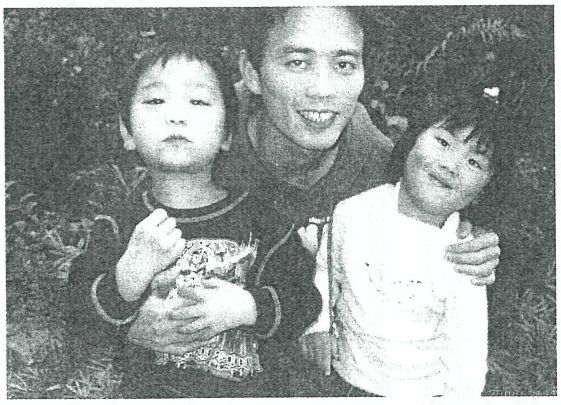
②娘の進学が決まり、巣立ちの時が間近となりました。飛び立つ為に羽根をひろげて、準備をしているようです。まだまだ、あぶなっかしくて親の方がハラハラとしていますが、本人は根拠のない自信に溢れて希望に向かって輝いて見えます。子どもたちが戻って来た時に、“ホッ”と出来る家庭を守る事が親の出来る準備でしょうか。

③鋸南町の将来を支えるのは子どもたちです。子どもたちの環境を守るのは大人の仕事です。来春、大学を卒業する長男が小学生だった頃も勝山小学校の新校舎建設の請願をずっとしていましたが、未だに着工出来ていません。教育環境を整えるのは大切な仕事です。早期の完成をお願いします。



鈴木　高子さん
（田町区・会社員）

次回は髙木　弘美さん（竜島区）へバトンタッチされます。



山賀　伸一さん（上佐久間区・会社員）

①タクシー乗務員として働いています。主に東京23区内、三鷹、武蔵野、吉祥寺へと車を走らせています。

毎日、たくさんのお客様と出会い、一人でも多くの方に満足して頂けるサービスが出来るよう、日々勉強させて貰っています。

②タクシーを運転する為に、二種免許と地理試験に挑戦し、“合格”したことは、とても嬉しかったです。

２人の子どもたちも４才と５才に成長し、日々の姉弟ゲンカの生意気な口調でのやり取りも成長の過程の一つとして楽しみに見守っています。

③8年前、初めて鋸南町に来ました。その時の印象が、山もあり、海もあり、多くの自然が残っていて豊かな町だと思いました。緑は心を癒してくれます。いつまでも、この自然を大切にしつつ、多くの人々が、住みやすい町であってほしいと思っています。

次回は中村　巧さん（中佐久間区）へバトンタッチされます。

ボランティア日記

綸（りん）の会

代表　髙橋　美代子

私達の会は、平成17年7月に発足しました。手作り作品で地域の人々とのコミュニケーションをはかることを目的とする28人のグループです。会員同志で知恵を出し合い作品を完成させています。

１回目は「ふくろうのブローチ」２回目は「ふくろうのストラップ」でした。この作品は教育委員会主催の「ふるさとウォーキング」に参加した方々におみやげ品として差し上げました。皆さん、「かわいい・かわいい」と早速持っていたカバンにつけて下さいました。会のデビュー作品です。自分達が作ることを楽しみ、その作品で喜んでいただけるという実感を味わいました。もし、興味を示して下さる方がいましたら、私達の会に参加してみませんか



綸の会の皆さん

家庭教育通信 すくすく NO.53

『幼児の心のサインが見えますか』

今回は、青少年育成アドバイザーとしてご活躍の、小倉　みどり先生に幼稚園でご講演いただいた『幼児の心のサインがみえますか』についてお話いたします。

○今が一番大事

・子どもと一緒に、嬉しいこと、悲しいことなど共感してください。そして、子どもと楽しい思い出をたくさん作ってほしい。「今が一番大事」と思って子どもをみてほしい。

○子どもらしく生きられる

・世の中が便利になり、すぐに結果が出ることが当たり前に感じている。子どもに「早く、早く」という言葉かけが多くありませんか。子どもに、早く結果が出ることを望んでいませんか。いろいろ経験するプロセスが大事です。また、早いことがよいこととは限りません。

例…ありの行列を発見した子どもは、じぃっと、ありの様子をみていることがあります。先を急ぎたい気持ちを抑え、子どもの気持ちに寄り添ってみませんか。「ありさん、どこに行くのかな」「たくさんいるね」今しかできない会話が楽しめると思います。

○子育ては自分と子どもの付き合い

・子どもと一番付き合っているのは、母親だと思います。人格、価値観など見えないところまで似ます。

・よいことも、悪いことも、生活の中でそのときに誉める、そのときに叱る。（しつけ）後でとか、まとめて言っても、子どもは理解できません。

・人間的な環境

「子どものため」と思ってしていることが、実は親の見栄だったりしていませんか。

・子育ては親育て

育てる人の心が子どもに響きます。意識しての環境では長続きしません。無意識の中での生活環境の積み重ねが大事です。それには、普段から自分を高めていくことが大事になります。

①お母さんが健康でいること。

②夫婦仲がよいこと

③「子どもがいて幸せ」と感じていると、生活の中での笑いが多くなります。

・子どもはお母さんが笑うことを望んでいます。忙しかったり、何か心配事があったりすると、子どもに心も目も届かなくなります。

○幼児期にくる第一次反抗期

・「やだ」と自分の考えを主張する時期。

まずは子どもの気持ちを受け止め、間違っていたら分かるように教えてあげましょう。（否定したり、親の考えや価値観で摘み取らないようにしましょう。）

・子どもの話をじっくり聞いてあげ、受け入れてあげることは、将来、自分の考えが言える子に育ちます。

・子どもの話をじっくり聞いてみると、子どもは大人の思いもよらないことを思っていたりします。

叱ることも、誉めることも、身近にできる幼児期を大切にする。

・親には笑顔に見えていても、子どもの心は・・・**笑顔の裏側**を見る。

プラス面もマイナス面も丸ごと両親の前で出せる。そしてそれを丸ごと受け入れてあげることが大事。

最後に先生から、子育ての十ヶ条を教えていただきました。参考にしてください。

①長所を伸ばし、誉めながら育てよう。

②年齢や性別に関係なく、子どもには公平であろう。

③まず、子どもの言い分に耳を傾けよう。

④子どもと約束したことは、必ず実行しよう。

⑤兄弟や友人と比べず、それぞれの個性を尊重しよう。

⑥禁止や命令は上手に工夫し、子どもに満足を与えよう。

⑦子どもの評価を成績だけで決めるのはやめよう。

⑧朝の出発は明るい声と笑顔で送り出そう。

⑨子どもの前で夫婦喧嘩はやめよう。

⑩親も成長しよう。そのためにいつまでも勉強しよう。

教育委員会　生涯学習室

（☎五五―二一二〇）

健康通信

「手あれ」

冬になると、手あれ・ヒビ・アカギレなどのトラブルが増えます。手の皮膚は衣類に守られることもなく、寒くて乾燥した外気や、冷たい水に直接さらされているので、トラブルも生じやすいわけです。

人間の皮膚はバリケードとしての表皮、毛細血管・皮脂腺・汗腺などがあって、弾力・血行や新陳代謝を保つ真皮、皮下脂肪組織の三層構造になっています。表皮の細胞をタイルにたとえると、何層かに重ねて貼り付けたように並んでいます。健康な表皮には、ほどよく水分と脂質が含まれており、タイルでいえば「めじ」の役割を果たしています。冬、空気が乾燥すると、「めじ」の水分が減少し、皮膚細胞は反り返ってはがれやすくなります。乾燥を防ぐために皮脂を出したのですが寒いと出にくくなっています。肌が乾燥して赤くただれてかゆいのが手あれ、これが悪化して皮膚が厚くなり亀裂を生じるのがヒビ、亀裂が深くなって赤い部分が見えたり、出血したりするのを、アカギレといいます。

対策の基本は、清潔にすること、保湿をすること、血行をよくすることです。

◎室内を暖めるときは、暖房を強くし過ぎず、加湿を同時に行います。

◎お風呂はぬるめのお湯に毎日入りましょう。ぬるめのお湯は表皮に水分を補給し血行をよくする効果が期待できます。硫黄は皮脂を吸収し皮膚を乾燥させるので、硫黄入りの入浴剤は避けましょう。

◎入浴後はよく水分をふき取り、直ちに保湿剤で水分の蒸発を防ぎ、表皮のタイルの「めじ」を補強します。症状が悪化している場合は皮膚科で保湿剤を選んでもらいましょう。

◎水仕事の時は薄い木綿の手袋の上にゴム手袋を使うといいでしょう。どうしても素手でする場合はぬるま湯で洗剤を薄めて使い、作業後は洗剤成分を洗い流し、直ちに保湿剤を塗りましょう。

◎外出するときは手袋で保温しましょう。きついものは血行を妨げるので、締め付けず通気性のよいものを選びましょう。

（保健福祉課　健康推進室）

歴史資料館

●連載161

江戸時代の漁業権争い（2）

敗訴続きの元名村

元禄十六年（一七〇三）、元名村は再び、漁業権を得ようと動きます。肥料にする海藻も取ってはだめ、下肥もやらない。このままでは村が滅びてしまいます。と訴えました。しかし前例によって認められないと、あっさり却下されます。

宝永七年（一七一〇）三度目は、また元名、大六共同で訴えます。保田町や吉浜村が我らの前海を支配しているのは、単に古い慣習にならっただけで、決められたものではない。我らの生活権を侵害しているという言い分です。

これに対し保田町は、評定所から、返答書を出すよう命じられます。それによると、

保田町には田畑が一つもなく、漁業が唯一生きるすべであること。漁業高の年貢も幕府から決められて納めている。元名にはそれがないではないか。幕府年貢米の輸送船の積み下ろしの仕事も請け負っている。難破船の救助活動や、村々に回すそのお達しなどの書状は、元名には来ないではないか。皆、幕府が保田町の漁業権を認めている証拠で、元名村は認められていない証拠だと、反論します。

まあ言われてみれば、いちいち、ごもっともな話で、また全面敗訴です。この訴訟の時、保田町は、今まで納めている運上金（税）を、なんと自分から増額しています。保田町の方が一枚も二枚も上手だったということです。

八十年後の勝利

その後、元名村は考えた末、享保八年（一七二三）、前海の全面的な支配は難しいだろうと、入会、つまり共有の海にしてもらえないかと訴えますが、これも却下。前例にならうという幕府の方針は、非常に硬かったようです。

延享年間、大帷子村を加えて四度目の争いが起こりました。大帷子村はそれまで何をしていたかというと、わずかな漁民が浜方にいて漁業をしていましたが、納める年貢は、保田町の分に加え、保田町の名で納めるという形でした。漁業の主導権は、保田町に完全に握られていたのです。

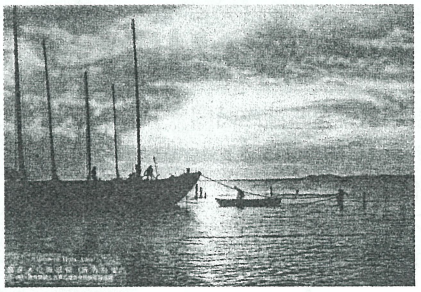
この頃になると、新興の漁民たちが現れ、各地で同じような訴訟が起こり、幕府も頭を悩ませていました。そろそろ認めてやってもよかろうと考えだします。

それと元禄の大地震で、保田の海岸線は、かなり打撃をこうむりました。波欠といって、それまで海岸近くの田畑で、海に沈んでしまったところが、元名村でも多く出てきていたのです。

そんなこんなで、延享五年（一七四八）、ついに、自分の村の前海は、それぞれの村が支配すること。ただし沖は入会。運上金は、各村で割合を定めて納めること。という裁決が出ました。

元名村、大六村は、何度も訴訟をやって、八十年もかけて、やっと漁業権を獲得したというわけです。

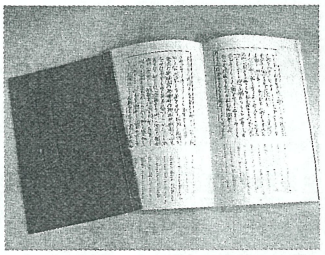
［歴史民俗資料館・笹生浩樹］



保田海岸風景

生涯学習 みんなで学ぼう

「養生訓を読む教室」



養生訓　巻第一

皆さんは“食べすぎはよくない。腹八分目”と一度は教わった経験がありますね。この“腹八分目”は今から300年前、朱子学派の儒者である貝原益軒が『養生訓』にあらわし、今もなお私達の生活のなかに溶け込んでいる言葉なのです。

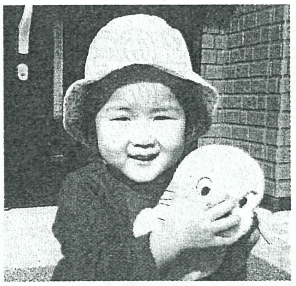
公民館では11月４日から、この『養生訓』の原書（古文書）を手本に変体仮名の読み方や漢方の知識を学び、健康に生きてゆく工夫について皆で語ろうという教室、「養生訓を読む教室」を開催しています。公民館古文書教室の講師であった“故金木輝雄先生の古文書への思いを断たないように”とサークル「古文書を読む会」北川清作さんが中心になって教室が進められています。毎回、「養生」の心がけについて語り合い知識を深めてゆきます。



北川さんを中心に
輪となって……

問い合わせ先　☎５５－４１５１　中央公民館

わんぱく登場



舞夏ちゃん（1歳4か月）

〔大胡真一さん 第2子 中原〕

暖かい日が続いてあんよができるようになった私には好都合の秋でした。靴を履くととってもお姉さんになった気分です。毎日お散歩で「鍛錬」している成果を発揮しに、動物園に連れていってもらったの。寒くなったって、子どもは風の子、ぜ～んぜんへっちゃらだから、またお出かけしようね。

桜だより

～さくら守養成講座開催～

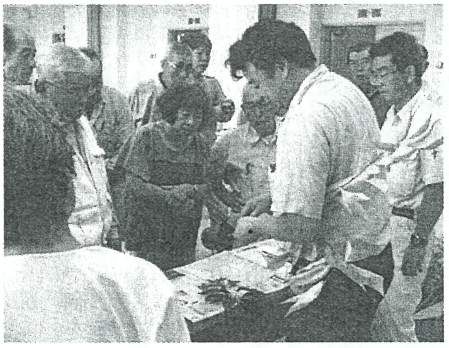
今年も5回の予定で「さくら守養成講座」が、開催されております。

16名の参加により、すでに4回の講座を終了しています。

この養成講座は、さくら守としての桜に関する知識と育成管理技術を身に付けるために日本花の会の小山講師を招き、開催されています。



初回の講座では、桜に関する基礎知識として、桜の種類・特性・形態について講義が行なわれました。第2回の講座では、佐久間ダムで施肥と雑草対策の現地実習を行い、第3回の講座も、佐久間ダムで病害虫防除と鳥獣害についての実習を行ないました。



第4回の講座では、桜の繁殖技術として、台木となる大島桜の苗木に、切り取った穂木（つぎ芽）をつぎ木する方法の実習を行いました。つぎ木された苗はそれぞれが持ち帰りその成長が楽しみとなります。

最後の講座は、12月17日に、整枝剪定技術等について行う予定です。

今後も桜を育てていくうえで、1人でも多くの町民の方々にさくら守になっていただき、「日本一の桜の里」に向けて、桜を育てていきましょう。

B&G NEWS

◇温水プール開館時間　10：00～21：00
※12時～13時・17時～18時は休憩
◇休館日　月曜日
◇プール利用料金
（町民）　小中学生 200円・一般 400円
※幼児は無料



≪平成17年度　3期水泳教室生徒募集≫

1月から第3期水泳教室を開催します。

★幼稚園	★小学生～中学生	★高校生・一般
☆ラッコ	☆選手コース	☆ポンポコ歩行
☆イルカ	☆育成コース	☆生き生き貯筋
★小学生		☆水中歩行
☆初級中級コース		☆腰痛改善
※新規参加者・初心者大歓迎です。		☆レディース

受付開始　平成18年1月5日（木）午前9：00
◇問い合わせ　鋸南町B＆G海洋センター　55－4411

あの子もこの子もきよなんの子　おめでとう

（10月26日から11月25日迄の届け分）



赤ちゃん	生まれた日	両親の名前	地区	わが子へのメッセージ
☆金高　未来（みく）ちゃん	平成17年10月14日	孝　雄・　弓　（第2子）	両向	やさしい子に育って下さい。
☆生貝　颯真（そうま）くん	平成17年10月31日	修　・美　貴（第2子）	竜島	颯爽と生きよう！

※掲載を希望しない場合は、出生届提出時に申し出てください。

写真さしあげます

広報に掲載した写真さしあげます
一部希望に添えない場合もあります
◇総務企画課　広報係
☎55－4801

人の動き

世帯数　3,748世帯　（＋ 2）

人　口	10,086人	（－ 9）
うち男	4,859人	（－ 4）
女	5,227人	（－ 5）

11月1日現在　（前月比）

善意の寄付

次の方から町へ善意のご寄付がありました。

平嶋　政男さん（両向区）	10,000円	景観整備寄付金
〃	10,000円	道の駅寄付金
須藤　やすさん（竜島区）	50,000円	桜植栽用支柱代寄付金
大和会（岩井袋区）	120,000円	勝山小学校建設基金寄付金
山倉講（岩井袋区）	200,000円	勝山小学校建設基金寄付金
陸上自衛隊第一空挺団	152・153期空挺レンジャー学生一同	
	15,500円	景観整備寄付金